BeautiCore
SYSTEM

ビューティコア
取扱説明書

SHOFU INC.

ビューティコア システムラインナップ

ビューティコア
ファイバーポスト 別売

光重合タイプ

ビューティコア
LC インジェクタブル

隔壁の形成およびコアの築盛

シリンジから直接築盛したい症例におススメ

ビューティコア
LC ペースト 別売

コアの築盛

インスツルメント等を用いて築盛したい症例におススメ

ビューティコア
LC ポストペースト

築造窩洞への填入

窩洞の浅い症例、光の届きやすい箇所におススメ

ビューティ
デュアルボンド EX

ボンディング処理

デュアルキュアタイプ

ビューティコア フローペースト 別売

築造窩洞への填入

窩洞の深い症例、光の届きにくい箇所におススメ

注意：
ビューティコア フローペーストには必ずビューティデュアルボンド EXをご使用ください。

ビューティコア フローペーストの準備

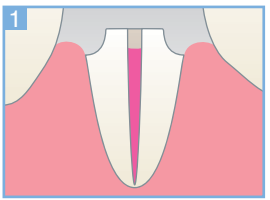
キャップを外し、ペーストが均等に出ることを確認します。

ミキサーをシリンジに装着し、ノズル（細）をミキサー先端に押し込みます。

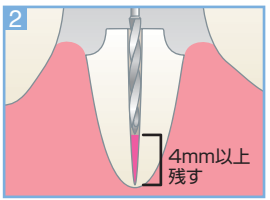
直接法

必要に応じて、ラバーダム等を用いて防湿を行なってください。

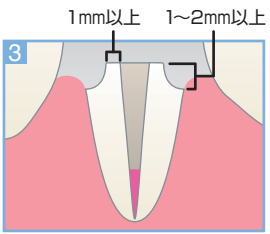
①築造窩洞の形成



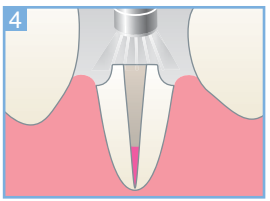
通法に従い、根管形成、根管充填を行います。



X線写真等により選択した適切な径のピーソリーマー等を用いて不要な根管充填材を除去します。その際、根管充填材は根尖から4mm以上残します。



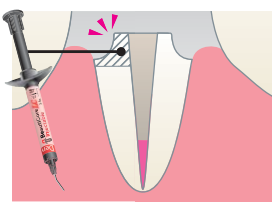
根管形成用ドリル等を用いて築造窩洞を形成します。その際、フェルールの高さ1〜2mm以上、厚さ1mm以上を全周で確保できるように形成します。



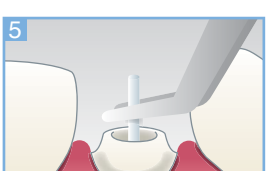
築造窩洞を水洗し、ペーパーポイント等を用いて水分を窩洞内から取り除いた後、エア乾燥を行います。

ONE POINT

歯冠部が崩壊した歯牙は、ビューティデュアルボンド EXで処理した後、ビューティコア LC インジェクタブルで隔壁を形成することにより、ラバーダムの装着が容易になるとともに、根管内への滲出液の侵入を防止できます。



②ポストの準備



適切な長さ及び太さのビューティコアファイバーポストを選択し、築造窩洞に試適します。必要に応じて、ファイバーポストを試適した状態でX線写真を撮影し、ファイバーポストが築造窩洞先端まで到達していることを確認します。

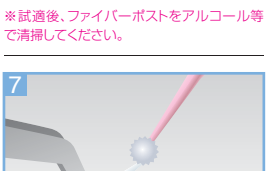
※試適後、ファイバーポストをアルコール等で清掃してください。

試適したファイバーポストを築造窩洞から取り外した後、口腔外でダイヤモンドディスク等を用いて適切な長さに調節します。

※ファイバーポストを調節する際は必ず、防護めがね及び 防塵マスク、グローブを着用してください。

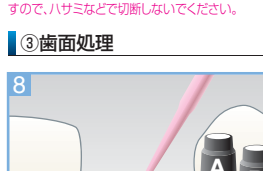
※ファイバーポストが押しつぶされる恐れがありますので、ハサミなどで切断しないでください。

③歯面処理



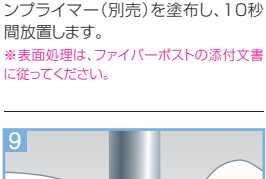
アルコール等で清掃し、松風ポーセレンプライマー（別売）を塗布し、10秒間放置します。

※表面処理は、ファイバーポストの添付文書に従ってください。



ビューティデュアルボンド EXのボンドAとボンドBを松風Vディッシュに1滴ずつ採取し、ディスポブラシファインで充分に混合した後、築造窩洞に塗布し、10秒間放置します。

※ボンドA,Bは混合後、3分以内に使用してください

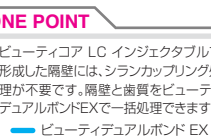


ボンドを飛散させない程度のエア乾燥を行なった後、更にエアを強めて充分に乾燥し、光照射（ハロゲン：10秒間、LED：5秒間）を行います。

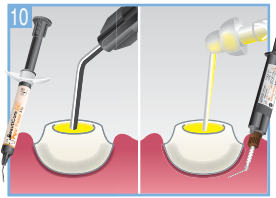
ONE POINT

ビューティコア LC インジェクタブルで形成した隔壁には、シランカップリング処理が不要です。隔壁と歯質をビューティデュアルボンドEXで一括処理できます。

ビューティデュアルボンド EX



④ポストの植立



LC ポストペースト又はフローペースト（別売）を築造窩洞内に直接填入し、②で準備したファイバーポストを速やかに築造窩洞内に挿入します。

※フローペーストは、光が届かない部分は、口腔内では約6分で硬化します。

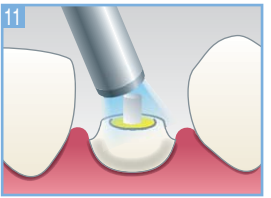
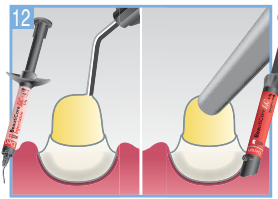


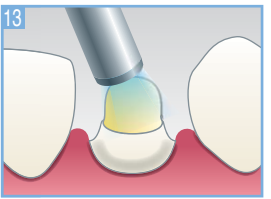
表1に従い光照射を行い、ファイバーポストを固定します。

※LC ポストペーストをお使いの場合、築造窩洞が深い場合は数回に分けてペーストの填入・光照射を行います。

⑤支台築造



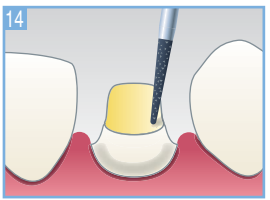
LC インジェクタブル又はLC ペースト（別売）をファイバーポストの周囲に築盛します。



築盛後、表1に従い舌側、唇（頬）側及び咬合面側からそれぞれ光照射を行い、光重合させます。

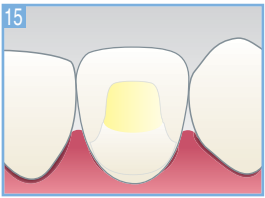
※必要に応じて、数回に分けてペーストの築盛と光照射を行ってください。

⑥支台歯形成



通法に従い支台歯形成を行います。

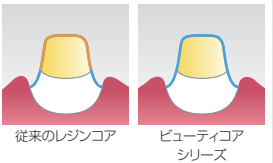
⑦補綴装置の装着



歯科用レジンセメントの添付文書に従い、補綴装置を合着します。

ONE POINT

ビューティコア面に対するシランカップリング処理は不要です。補綴装置合着時の支台歯への前処理は、歯質用プライマーで行えます。



万が一、接着処理面が唾液・血液などで汚染された場合は、再度、水洗乾燥し、接着処理を行なってください。

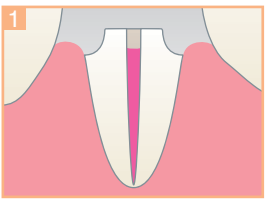
表1

	ビューティデュアルボンド EX	光重合タイプ	デュアルキュアタイプ	光重合タイプ			
		LC ポーストペースト	フローペースト	LC ペースト		LC インジェクタブル	
				White	Dentin	White	Dentin
ハロゲン照射器	10 秒	20 秒 (4.5mm)	20 秒	20 秒 (3.0mm)	20 秒 (3.4mm)	20 秒 (2.8mm)	20 秒 (3.4mm)
		40 秒 (6.0mm)		40 秒 (3.4mm)	40 秒 (3.5mm)	40 秒 (3.3mm)	40 秒 (3.9mm)
LED 照射器	5 秒	10 秒 (4.6mm)	10 秒	10 秒 (2.9mm)	10 秒 (3.4mm)	10 秒 (2.8mm)	10 秒 (3.4mm)
		20 秒 (6.0mm)		20 秒 (3.5mm)	20 秒 (3.8mm)	20 秒 (3.2mm)	20 秒 (3.9mm)

※フローペーストは、光が届かない部分は、口腔内では約6分で硬化します。　　（ ）：光硬化深度

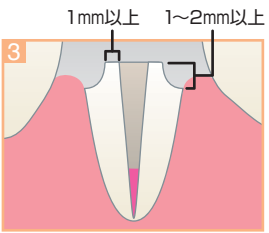
臨床ステップ

①築造窩洞の形成



通法に従い、根管形成、根管充填を行います。

X線写真等により選択した適切な径のピーソリーマー等を用いて不要な根管充填材を除去します。その際、根管充填材は根尖から4mm以上残します。

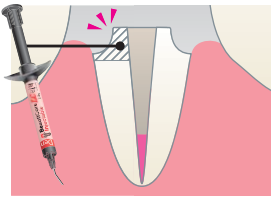


根管形成用ドリル等を用いて築造窩洞を形成します。その際、フェルールの高さ1〜2mm以上、厚さ1mm以上を全周で確保できるように形成します。

築造窩洞を水洗し、ペーパーポイント等を用いて水分を窩洞内から取り除いた後、エア乾燥を行います。

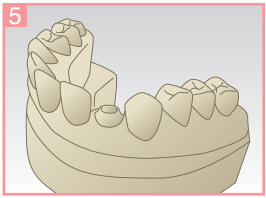
ONE POINT

歯冠部が崩壊した歯牙は、ビューティデュアルボンド EXで処理した後、ビューティコア LC インジェクタブルで隔壁を形成することにより、ラバーダムの装着が容易になるとともに、根管内への滲出液の侵入を防止できます。



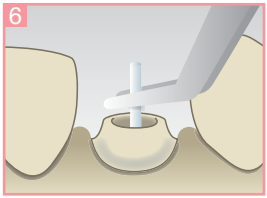
②模型作製およびファイバーポストの準備

5



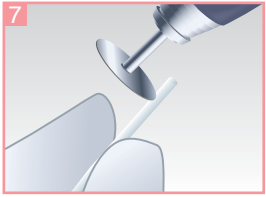
通法に従い築造窩洞の印象を採得し、模型を作製します。
築造窩洞内のアンダーカットはワックス等でブロックアウトします。

6



模型上の築造窩洞に対して、適切な太さのビューティコア ファイバーポストを選択し、試適します。その際、ファイバーポストが築造窩洞先端まで到達していることを確認します。

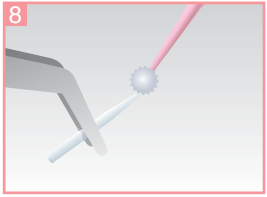
7



試適したファイバーポストを模型から取り外した後、ダイヤモンドディスク等を用いて適切な長さに調節します。

※ファイバーポストを調節する際は必ず、防護めがね及び防塵マスク、グローブを着用してください。
※ファイバーポストが押しつぶされる恐れがありますので、ハサミなどで切断しないでください。

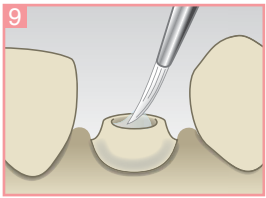
8



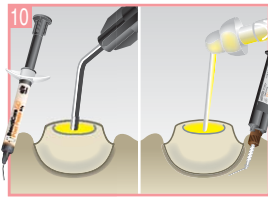
アルコール等で清掃し、松風ポーセレンプライマー（別売）を塗布し、10秒間放置します。

※表面処理は、ファイバーポストの添付文書に従ってください。

③ポストコアの作製(ポストの植立)



模型上の築造窩洞に本品の付着を防止する分離材(ワセリン等)を塗布します。



LC ポストペースト又はフローペーストを模型上の築造窩洞内に直接填入し、②で準備したファイバーポストを速やかに築造窩洞内に挿入します。

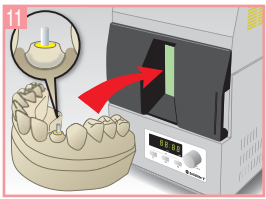
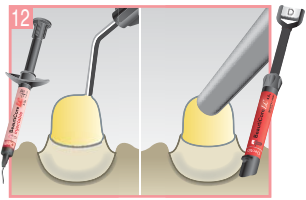


表2に従い光照射を行い、ファイバーポストを固定します。

※LC ポストペーストをお使いの場合、築造窩洞が深い場合は数回に分けてペーストの填入・光照射を行います。

※ビューティコア フローペーストは、光の届かない部分は室温下(23℃)では、約10分で硬化します。

④ポストコアの作製(支台築造)



LC インジェクタブル又はLC ペーストをファイバーポストの周囲に築盛します。

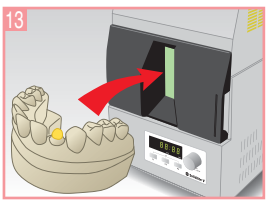
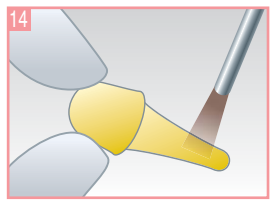


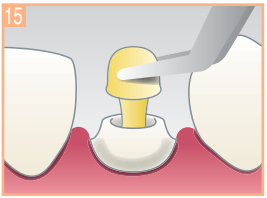
表2に従い光照射を行います。ポストコアを模型から取り外し、分離材を取り除いた後、表2に従い再度光照射を行います。

※歯科重合用光照射器を使用する場合は、表2に従い、舌側と頬側及び咬合面からそれぞれ光照射を行います。

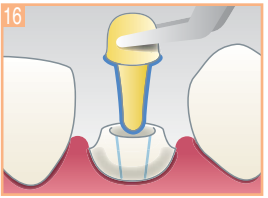


ポストコアを形態修正した後、50～100μmのアルミナ粒子を用いて、0.1～0.2MPaの弱圧で被着面のサンドブラスト処理を行い、水洗・乾燥します。

⑤ポストコアの装着

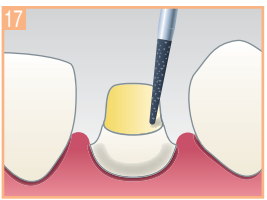


通法に従い根管内を清掃した後、ポストコアを築造窩洞に試適します。試適後、通法に従いポストコアを清掃します。



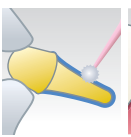
歯科用レジンセメントの添付文書に従い、作製したポストコアを築造窩洞に合着します。

⑥支台歯形成



歯科用レジンセメント硬化後、通法に従い支台歯形成を行います。

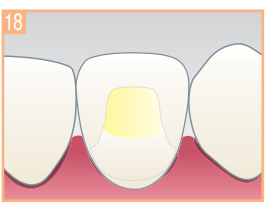
ONE POINT



ポストコア、歯質共に歯質用プライマーでの処理が可能です。

歯質用プライマー

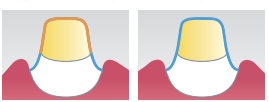
⑦補綴装置の装着



歯科用レジンセメントの添付文書に従い、補綴装置を合着します。

ONE POINT

ビューティコア面に対するシランカップリング処理は不要です。補綴装置合着時の支台歯への前処理は、歯質用プライマーで行えます。



ポーセレンプライマー　歯質用プライマー

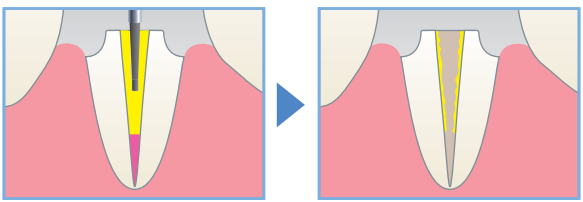
万が一、接着処理面が唾液・血液などで汚染された場合は、再度、水洗乾燥し、接着処理を行なってください。

表2

		光重合タイプ	デュアルキュアタイプ	光重合タイプ			
		LC ポストペースト	フローペースト	LC ペースト		LC インジェクタブル	
				White	Dentin	White	Dentin
歯科技工用光照射器	ハロゲンランプ型	180 秒 (4.4mm)	60 秒	180 秒 (2.5mm)	180 秒 (3.0mm)	180 秒 (2.6mm)	180 秒 (3.0mm)
	メタルハライドランプ型	150 秒 (4.3mm)	30 秒	150 秒 (2.6mm)	150 秒 (3.0mm)	150 秒 (2.5mm)	150 秒 (3.0mm)
歯科重合用光照射器	ハロゲン照射器	20 秒 (4.5mm)	20 秒	20 秒 (3.0mm)	20 秒 (3.4mm)	20 秒 (2.8mm)	20 秒 (3.4mm)
		40 秒 (6.0mm)		40 秒 (3.4mm)	40 秒 (3.5mm)	40 秒 (3.3mm)	40 秒 (3.9mm)
	LED 照射器	10 秒 (4.6mm)	10 秒	10 秒 (2.9mm)	10 秒 (3.4mm)	10 秒 (2.8mm)	10 秒 (3.4mm)
		20 秒 (6.0mm)		20 秒 (3.5mm)	20 秒 (3.8mm)	20 秒 (3.2mm)	20 秒 (3.9mm)

※フローペーストは、光の届かない部分は室温下(23℃)では約10分で硬化します。　　(　):光硬化深度

ONE POINT　再根管治療



補綴装置を除去し、ビューティコアを研削材で除去します。

根管歯質にビューティコアが残存しても、ビューティコア面も歯質用プライマーでの処理が可能です。

その後、本取扱説明書に従い、ビューティコアシステムを用いて支台築造を行ってください。

ビューティコアキット EX 包装内容
- ビューティコア LC インジェクタブル(Dentin)　2.5g
- ビューティコア LC ポストペースト　2.1g
- ビューティデュアルボンド EX ボンドA　3.0mL
- ビューティデュアルボンド EX ボンドB　2.5mL
- ディスポブラシファイン(ピンク)　50
- 松風Vディッシュ　25
- 松風ニードルチップ　5
- 松風ニードルチップ(太)　5

<単品>
- ビューティコア LC インジェクタブル(White・Dentin)　2.5g
- ビューティコア LC ペースト(White・Dentin)　4.6g
- ビューティコア LC ポストペースト　2.1g
- ビューティコア フローペースト　9.0g
- ビューティコア ファイバーポスト
  1.0mm(10入)、1.2mm(10入)
  1.4mm(10入)、1.6mm(10入)
- ビューティデュアルボンド EX ボンドA　3.0mL
- ビューティデュアルボンド EX ボンドB　2.5mL

世界の歯科医療に貢献する
株式会社 松風
http://www.shofu.co.jp
本社●〒605-0983京都市東山区福稲上高松町11・TEL(075)561-1112㈹